群馬県避難ビジョン　ロードマップ（R5.6.12現在）

柱	分野	主要事業	2021	2022	2023	2024	2025
避難の選択肢の多様化	分散避難の推進	意識醸成と行動変容	最適な避難先の検討に資する広報、セミナー等の実施	車中避難に関する周知啓発イベントの開催	検証を踏まえ継続実施を検討		
		マイ・タイムライン	市町村は水害リスクのある全住民が個人の避難行動計画（マイ・タイムライン）作成を補助、県は作成支援				
		想定避難者数の推計	分散避難を考慮した指定避難所への避難者数推計		随時アップデート		
		広域避難	県有施設の活用促進 避難元市町村が避難先市町村と調整した広域避難計画を作成推進、県がフォロー・支援				
	要配慮者対策	・地区防災計画 ・要支援者名簿、個別計画 ・福祉避難所への直接避難	県、市町村、自主防災組織、関係機関等で連携し、地区防災計画を作成する体制を整備 避難行動要支援者名簿・個別計画の作成、福祉避難所へ直接避難する仕組みの検討			名簿、計画の作成状況を踏まえて更なる方策の実施	
		要配慮者利用施設における避難確保計画	対象となる全施設が、避難確保計画を作成	定期的な訓練実施・検証・改善（計画の見直し）			
避難所生活の質向上	物資の確保・供給	家庭備蓄の啓発	住民への、食料、生活必需品、衛生用品等の備蓄と災害時の持ち出し等について周知・啓発（感染症対策用の物品を含む）				
		備蓄・供給の見直し	既存協定の整理、新協定の締結 市町村、県、関係団体、県内企業等と連携した備蓄（県・市町村の現物備蓄の見直し）を進めるとともに、供給体制について人的応援体制を構築 【ベッド】 ・宿泊事業者、市町村等と連携したホテル・旅館避難スキームの構築 ・備蓄(保管)スペースを確保するとともに、関係団体等から速やかに供給する仕組みを構築 【フード】 ・JAグループ群馬等と連携し、生鮮食料品を供給する仕組みを構築 ・給食センターなど調理施設を活用する仕組みを構築 ・飲食店等と連携した食事提供の仕組み（キッチンカー活用等）を検討・構築 ・栄養士と連携したレシピ開発 ・県内食品メーカーと連携し、栄養バランスに配慮した備蓄食料品の共同研究・開発を検討 【トイレ】 ・協定締結先から速やかに供給する仕組みを構築 ・事業者と連携し、トレーラートイレ、コンテナトイレを確保する仕組みを検討 ・建設関係者と連携した仮設トイレの快適化を推進			訓練等に基づき検証・改善（体制の見直し）	
	避難所の運営	避難所運営マニュアル等の改正	避難所運営チェックリストの作成 県避難所運営ガイドラインの改訂、市町村避難所運営マニュアルの改訂			訓練等に基づき検証・改善（チェックリスト・マニュアル等の見直し）	
		住民主体の避難所運営の啓発	県、市町村、自主防災組織、関係機関等で連携し、住民参加型の訓練を実施するなど、平時からのコミュニケーションによる、自助・共助意識の向上を図る。				
		避難所アセスメント	県、市町村、関係機関等で連携し、避難者からの保健福祉・生活環境・医療ニーズなど多様なニーズに対応するための、モニタリング及びアセスメント体制の構築			訓練等に基づき検証・改善（マニュアル等の見直し、体制の見直し）	
避難行動・避難所設営・避難所運営訓練（感染症対策を含む）			各市町村の避難所１カ所で訓練実施	各市町村の避難所５０％で訓練実施		各市町村の避難所１００％で訓練実施	

※新たな知見等により、本ロードマップは随時見直を行う。